

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

| | |
|------|-------------|
| 学校名 | 淡海書道文化専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人 淡海文化学園 |

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

| 課程名 | 学科名 | 夜間・通信制の場合 | 実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数 | 省令で定める基準単位数又は授業時数 | 配置困難 |
|----------|---------------|-----------|-----------------------------|-------------------|------|
| 文化教養専門課程 | 書道師範科(1年) | 夜・通信 | 962時間 | 80時間 | |
| | 書道研究科(2年) | 夜・通信 | 1938時間 | 160時間 | |
| | 書道研究マスター科(3年) | 夜・通信 | 2942時間 | 240時間 | |
| | | 夜・通信 | | | |
| (備考) | | | | | |

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

職員室前廊下の閲覧コーナーでの開示
入学オリエンテーションにて学生全員に配布済み

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 なし

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

| | |
|------|-------------|
| 学校名 | 淡海書道文化専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人 淡海文化学園 |

1. 理事（役員）名簿の公表方法

職員室前廊下の閲覧コーナーでの開示

2. 学外者である理事の一覧表

| 常勤・非常勤の別 | 前職又は現職 | 任期 | 担当する職務内容 や期待する役割 |
|----------|------------------|---------------------------------|---------------------|
| 非常勤 | 五個荘町教育委員会 教育長 | 令和2年9 月15日～ 令和6年9 月14日 | 法人組織の計画・運 営の確認 |
| 非常勤 | 東近江市税務部長 | 令和2年9 月15日～ 令和6年9 月14日 | 法人組織の計画・運 営の確認 |
| 非常勤 | 日本習字教育財団 教務部 | 令和2年9 月15日～ 令和6年9 月14日 | 法人組織の計画・運 営の確認 |
| (備考) | | | |

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

| | |
|------|-------------|
| 学校名 | 淡海書道文化専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人 淡海文化学園 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

| | |
|--|---------------------|
| <p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> | |
| <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>○教科ごとに各科目担当講師が「年間授業計画書」を作成し公表。計画書に添って授業を進めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2月下旬・・・各担当講師がシラバス(案)を作成。 ・ 3月中旬・・・授業担当者会議で検討し、校長が決定。 ・ 入学後の各授業の中で、必要に応じて各担当講師が説明。 | |
| 授業計画書の公表方法 | 入学後のオリエンテーションで学生に配布 |
| <p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> | |
| <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>○各教科の講師が評価し、校長に説明。校長が認定する。</p> <p>○全体として「毛筆書道」において大作の卒業・進級制作を作成。各科目においては1年間の集大成として卒業・進級作品の提出。試験等では、必要に応じてその都度実施し評価の一助としている。</p> <p>○成績評価は学則に従って前期・後期に分けて科目毎に10段階で評価し、各担当講師が学生一人ひとりに学習成果や今後に向けた講評を記入し、本人と保護者に送付している。 年間総合成績としてはA B C Dの4段階で評価し、永久保存している。</p> | |

| | |
|--|---|
| <p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> | |
| <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>○年2回指導者会議を行い、成績評価の統一性を図っている。</p> <p>○単にABCDの分割方式ではなく、出欠状況や学習状況が到達点に達しているか等を基準として、客観的・総合的に判断し適切な評価を行っている。</p> <p>○前期・後期合わせた年間総合評価はABCDで表示、A優(10~8)、B良(7~5)、C可(4~2)、D不可(1)で表し、学生・保護者にも説明している。</p> <p>○履修科目の成績評価を点数化(前後期とも100点満点)し、合計点数で通年成績を算出。</p> | |
| <p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・学生に配布し説明、保護者にも説明文配布。 ・職員室で閲覧可能。 |
| <p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> | |
| <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>○各科目の講師が出してきた評価を、校長と教頭が吟味し、適切であるかどうか検討、疑問点があれば評価者に説明を求めるなど、正当性を図っている。</p> | |
| <p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p> | <p>○学則第21条に規定。学生には「学校生活のしおり」配布冊子に記載し説明</p> |

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

| | |
|------|-------------|
| 学校名 | 淡海書道文化専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人 淡海文化学園 |

1. 財務諸表等

| 財務諸表等 | 公表方法 |
|--------------|-------------------|
| 貸借対照表 | 職員室前廊下の閲覧コーナーでの開示 |
| 収支計算書又は損益計算書 | 職員室前廊下の閲覧コーナーでの開示 |
| 財産目録 | 職員室前廊下の閲覧コーナーでの開示 |
| 事業報告書 | 職員室前廊下の閲覧コーナーでの開示 |
| 監事による監査報告（書） | 職員室前廊下の閲覧コーナーでの開示 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------|----|---|---|-------------|-------------|-------------|---|
| 文化・教育 | | 専門課程 | 書道師範科・書道研究科 書道研究マスター科 | 有 | 無 | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 1年 | 昼間 | 930時間/31単位 1860時間/62単位 2790時間/93単位 単位時間/単位 | 240/8 450/15 | | | | 690/23 1410/47 2790/93 単位時間/ 単位 |
| 2年 | 昼間 | | 単位時間/ 単位 | 単位時間/ 単位 | 単位時間/ 単位 | 単位時間/ 単位 | 単位時間/ 単位 |
| 3年 | 昼間 | | 1年 930時間/31単位 2年 1860時間/62単位 3年 2790時間/93単位 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 90人 | | 39人 | 1人 | 3人 | 3人 | 6人 | |

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

| |
|--|
| <p>(概要)</p> <p>書道実技、書道教育理論の講義、一般教養からなるカリキュラム。 年間 930 時間(実技 690 時間、講義 120 時間、教養 120 時間)、 31 単位(実技 23 単位、講義 4 単位、教養 4 単位)を取得。 ※書道研究マスター科のみ、実技 930 時間 31 単位</p> |
| <p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>態度と理解に分けた 100 点方式。各教科の講師による講評文。 年間成績を ABCD の 4 段階で評価。D 評価は卒業不可。</p> |
| <p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>12 月～2 月に行われる卒業、進級制作において各教科の作品を提出 (卒論になる) なお、年間成績で D 判定(20 点以下)の場合は卒業不可</p> |

| |
|--|
| 学修支援等 (概要) |
| 昼休み、放課後、夏休み、冬休み、春休み、の期間は学校を開放して、個別に指導。単位修得が難しい学生を早めに把握し補修等で支援。 |

| | | | |
|---|---------------|-------------------|----------------|
| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| 23人 (100%) | 1人 (4.3%) | 18人 (78.3%) | 4人 (17.4%) |
| (主な就職、業界等) ・書道関係の企業、私塾開設、書道講師、一般事務関係 | | | |
| (就職指導内容) ・ハローワークと連携して就職紹介。 | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）) ・日本習字教育財団 書道指導資格免許状(漢字部、かな部、ペン部) ・書写技能検定1級、2級取得※任意 ・文部科学省認定講座修了証書 | | | |
| (備考) (任意記載事項) | | | |

| | | |
|--|----------------|------|
| 中途退学の現状 | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 46 人 | 4 人 | 8.7% |
| (中途退学の主な理由) ・身体的、家庭の事情、人間関係 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) ・欠席は必ず電話をしてもらう。状況を聞きながら学生に声掛けをする。 ・月5日以上休んだ学生は、保護者へメール連絡。保護者から声をかけてもらう。 ・友人に状況を聞き、一緒に学校へ来るように促す。 | | |

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

| 学科名 | 入学金 | 授業料 (年間) | その他 | 備考 (任意記載事項) |
|---------------|-----------|-------------|-----------|-------------|
| 書道師範科 | 200,000 円 | 700,000 円 | 150,000 円 | |
| 書道研究科 | 200,000 円 | 700,000 円 | 150,000 円 | |
| | 円 | 円 | 円 | |
| | 円 | 円 | 円 | |
| 修学支援 (任意記載事項) | | | | |
| | | | | |

b) 学校評価

| | | |
|--|----|-----|
| 自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ・淡海書道文化専門学校ホームページ self-evaluation_2024.pdf (tankai-shodo.ac.jp) に掲載 | | |
| 学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) ・学校の卒業生、関係業界、学識経験者から「学校自己評価」の結果を基に評価を実施。結果を理事会に報告し学校の運営に反映、改善を行っている。(責任者:石橋俊宏) | | |
| 学校関係者評価の委員 | | |
| 所属 | 任期 | 種別 |
| 卒業生 | 2年 | 卒業生 |
| 書道教室の先生 | 4年 | 卒業生 |
| 元、運送関係 | 4年 | 営業 |
| | | |
| 学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) evaluation_2024.pdf (tankai-shodo.ac.jp) に掲載 | | |
| 第三者による学校評価 (任意記載事項) | | |
| | | |

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

- ・学校ホームページ tankai-shodo.ac.jp

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

| | |
|------|-------------|
| 学校名 | 淡海書道文化専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人 淡海文化学園 |

1. 財務諸表等

| 財務諸表等 | 公表方法 |
|--------------|-------------------|
| 貸借対照表 | 職員室前廊下の閲覧コーナーでの開示 |
| 収支計算書又は損益計算書 | 職員室前廊下の閲覧コーナーでの開示 |
| 財産目録 | 職員室前廊下の閲覧コーナーでの開示 |
| 事業報告書 | 職員室前廊下の閲覧コーナーでの開示 |
| 監事による監査報告（書） | 職員室前廊下の閲覧コーナーでの開示 |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------|----|---------------------------|---|-------------|-------------|-------------|------------------------|
| 文化・教育 | | 専門課程 | 書道師範科・書道研究科 書道研究マスター科 | 有 | 無 | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 1年 | 昼間 | 850時間/31単位 | 240/8 | | | | 690/23 |
| 2年 | 昼間 | 1700時間/62単位 | 450/15 | | | | 1410/47 |
| 3年 | 昼間 | 2550時間/93単位 単位時間/単位 | 単位時間/ 単位 | 単位時間/ 単位 | 単位時間/ 単位 | 単位時間/ 単位 | 2790/93 単位時間/ 単位 |
| | | | 1年 930時間/31単位 2年 1860時間/62単位 3年 2790時間/93単位 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 90人 | | 39人 | 1人 | 3人 | 3人 | 6人 | |

| |
|---|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| （概要） 書道実技、書道教育理論の講義、一般教養からなるカリキュラム。 年間930時間（実技690時間、講義120時間、教養120時間）、 31単位（実技23単位、講義4単位、教養4単位）を取得。 ※書道研究マスター科のみ、実技930時間31単位 |
| 成績評価の基準・方法 |
| （概要） 態度と理解に分けた100点方式。各教科の講師による講評文。 年間成績をABCDの4段階で評価。D評価は卒業不可。 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| （概要） 12月～2月に行われる卒業、進級制作において各教科の作品を提出 （卒論になる）なお、年間成績でD判定（20点以下）の場合は卒業不可 |

| |
|---|
| <p>学修支援等 (概要)</p> <p>昼休み、放課後、夏休み、冬休み、春休み、の期間は学校を開放して、個別に指導。単位修得が難しい学生を早めに把握し補修等で支援。</p> |
|---|

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|---|---------------|-------------------|----------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| 23人 (100%) | 1人 (4.3%) | 18人 (78.3%) | 4人 (17.4%) |
| (主な就職、業界等) ・書道関係の企業、私塾開設、書道講師、一般事務関係 | | | |
| (就職指導内容) ・ハローワークと連携して就職紹介。 | | | |
| (主な学修成果(資格・検定等)) ・日本習字教育財団 書道指導資格免許状(漢字部、かな部、ペン部) ・書写技能検定1級、2級取得※任意 ・文部科学省認定講座修了証書 | | | |
| (備考) (任意記載事項) | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|--|----------------|------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 46人 | 4人 | 8.7% |
| (中途退学の主な理由) ・身体的、家庭の事情、人間関係 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) ・欠席は必ず電話をしてもらう。状況を聞きながら学生に声掛けをする。 ・月5日以上休んだ学生は、保護者へメール連絡。保護者から声をかけてもらう。 ・友人に状況を聞き、一緒に学校へ来るように促す。 | | |

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

| 学科名 | 入学金 | 授業料 (年間) | その他 | 備考 (任意記載事項) |
|---------------|-----------|-------------|-----------|-------------|
| 書道講師科 | 200,000 円 | 700,000 円 | 150,000 円 | |
| 書道研究科 | 200,000 円 | 700,000 円 | 150,000 円 | |
| | 円 | 円 | 円 | |
| | 円 | 円 | 円 | |
| 修学支援 (任意記載事項) | | | | |
| | | | | |

b) 学校評価

| | | |
|--|----|-----|
| 自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ・淡海書道文化専門学校ホームページ self-evaluation_2024.pdf (tankai-shodo.ac.jp) に掲載 | | |
| 学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) ・学校の卒業生、関係業界、学識経験者から「学校自己評価」の結果を基に評価を実施。結果を理事会に報告し学校の運営に反映、改善を行っている。(責任者:石橋俊宏) | | |
| 学校関係者評価の委員 | | |
| 所属 | 任期 | 種別 |
| 卒業生 | 2年 | 卒業生 |
| 書道教室の先生 | 4年 | 卒業生 |
| 元、運送関係 | 4年 | 営業 |
| | | |
| 学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) evaluation_2024.pdf (tankai-shodo.ac.jp) に掲載 | | |
| 第三者による学校評価 (任意記載事項) | | |
| | | |

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

- ・学校ホームページ tankai-shodo.ac.jp